

## 世界の水

山添村立山添中学校二年

杉本 結虹

水は蛇口をひねれば当たり前に出てくると思っていますか。それは私たちだけの当たり前前なのかもしれません。

世界では、安全な水を手に入れられない人が六億六千三百人もいます。

中でも、サハラ以南のアフリカ諸国の子どもたちは、家族、友人のために、水の重さに耐えながら長い距離を歩き水汲みに行きます。

その水は、はたしてきれいな水と言っているのでしょうか。

子どもたちの多くは、池、川、井戸など飲用に適さない水を汲むしかありません。

その水は多くの場合、泥や水に含まれる菌、サルモネラ菌、インフルエンザウイルスなどたくさん菌、動物のふん尿などが混じった危険な水なのです。

浄水処理をしないまま飲むと、抵抗力が弱

い子ども、乳幼児は、下痢を起こし、命を落としています。なんと、年間で三十万人、毎日だと八百人にもものぼります。

汚れた水は不衛生な環境によるものです。

水汲みのために、学校に通うはずの子どもたちは、学校に行けていません。

未来を担う子どもたちは、水源のためだけに学校に通うことができません。

これから、このようなことをなくすにはどうすれば良いのでしょうか。

これは、インターネットから引用した事なのですが、家の近くに井戸があつたり、水道ができれば、これまで水汲みで学校に通えなかつた子どもたちも、学校に通い、この山添中学校にいる生徒と同じように、授業をうけることができます。

そのためにも、少しの募金、節水を心がけることが大切です。その中でも、節水は簡単にだれもができることです。

例えば、歯みがきをする際にコップ一杯の

水を使うことで、約五リットルもの水を節約  
することが出来ます。

日本では、海の水、川の水、雨水を飲用水  
として使用するために、浄水場でろ過装置な  
どを使い、大腸菌等は、塩素などの薬品によ  
り滅菌された、安全安心な水道水として使用  
することが出来ます。

きれいな水を飲むため、使うためには、日  
々の節水も大事なのですが、土壌などの環境  
保全のためにも、ゴミを捨てないという環境  
サイクルを保つことこそ、きれいな水を守る  
ことにつながるので。

たった少しの募金、節水、環境保護を心が  
けるだけで、世界中で水の通っていない国に  
水が通り、世界中の子どもたちが学校に通う  
ことが出来ます。

私は、この学習を通して、水の大切さ、世  
界できれいな水を使うことができていない人  
がどれだけいるかなどを知ることができまし  
た。これから私は、歯みがきをする際、コッ

プ一杯の水だけで歯みがきをします。

これだけのことをするだけで、世界中の子どもたちが少しでも救われます。

私たちの国、日本に当たり前にある水。その水もたくさんの人の手によつてきれいにされているものです。これからは、水を無駄にせず、ありがたく口にしようと思いました。

みなさんも、日々の生活の中の、ちよつとしたことを見直し、節水に心がけてみませんか。